



**Doado pelo
Povo Japonês**

草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、パラナ州コロンボ市の特別支援学校校舎の改修を支援

平成26年11月19日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「サンタ・ジェンマ・ガルガニ特別支援学校校舎改修計画」（供与額：総額US\$94,446（約221,853レアル））の供与式がパラナ州コロンボ市のサンタ・ジェンマ・ガルガニ特別支援学校において行われました。供与式には、池田敏雄在クリチバ日本国総領事、クレヴェルソン・ソウザ・コロンボ障害児を支える親と友の会会長、リタ・アパレシダ・ダ・シルバ校長、ラファエル・ベルトルジ・パラナ州副知事代理、イザベテ・クリスチナ・パヴィン・コロンボ市長、被供与団体職員、生徒、報道関係者ら約150名が出席しました。

コロンボ障害児を支える親と友の会は1996年に設立されて以来、サンタ・ジェンマ・ガルガニ特別支援学校を通じてコロンボ市に在住する知的・身体障害者に対する教育、医療、心理療法、理学療法、言語療法、作業療法、リハビリなどのサービスを提供しています。しかし、同学校の校舎は雨漏り等が頻繁に発生するなど老朽化しており、適切な教育・医療サービスが提供できていなかったことから、日本政府は同特別支援学校校舎の改修工事を支援することとなりました。

供与式でラファエル・ベルトルジ・パラナ州副知事代理は、日本政府を代表する日本総領事館に感謝の意を述べる共に、同支援は障害者達に提供するサービス環境向上につながる旨述べました。

続いて、池田敏雄総領事は、日本国政府は草の根無償資金協力を通じてサンタ・ジェンマ・ガルガニ特別支援学校校舎の改修が実施されたことは、大変喜ばしいと思う旨述べ、日本国政府および日本国民を代表し、同プロジェクトを通じて、同校における障害者教育環境が改善されることを期待すると共に、日伯両国の友好の絆を一層強化される事を願う旨述べました。

また、イザベテ・クリスチナ・パヴィン・コロンボ市長は、同市の障害児を支える親と友の会は市内の約200人の障害者を受け入れている中、まだ多くの待機障害者児童がおり、やむなくクリチバの学校に通わなければならない現状であるが、このような状況の緩和につながる同施設の改修プロジェクトを支援した日本政府や日本国民に深い感謝の意を述べました。

続いて、クレヴェルソン・ソウザ・コロンボ障害児を支える親と友の会会長は職員や協力者達と共に校舎改修工事の完了を祝うことができ光栄に思う旨述べ、改修プロジェクトを支援した日本政府や日本総領事館にお礼の言葉を述べました。

最後に、同校生徒代表は校舎改修前の教室の雨漏り状況を語り、改修されたおかげで環境が改善されたことに対し日本政府に心から感謝にしたい旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】

在クリチバ日本国総領事館

草の根・人間の安全保障無償資金協力

Tel : 041-3322-4919

Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



スピーチをする池田総領事



感謝プレートを除幕するクレヴェルソン会長と池田総領事



供与式参加者



踊りを披露した生徒達